

令和5年度

病院プラン結果概要  
(大阪府・豊能二次医療圏)

# Contents

## ① 令和5年度病院プラン結果

- (1) 病院プランの提出状況
- (2) 病床機能別病床数
- (3) 府の報告基準に基づく報告との一致率
- (4) 病院機能分類結果概要

## ② 将来のあるべき医療体制に向けて

- (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能等

# ① 令和5年度病院プラン結果

(1) 病院プランの提出状況

(2) 病床機能別病床数

(3) 府の報告基準に基づく報告との一致率

(4) 病院機能分類結果概要



## ① (1) 病院プランの提出状況

すべての病院から病院プランが提出されている

## ● 病院プラン提出状況（公民別）

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	22	22	100%
公的	51	51	100%
民間等	392	392	100%
合計	465	465	100%

## ● 病院プラン提出状況（病院機能分類別）

病院機能分類	対象病院数	提出病院数	提出率
①特定機能病院	7	7	100%
②急性期病院	101	101	100%
③急性期ケアミックス型病院	120	120	100%
④地域急性期病院	33	33	100%
⑤後方支援ケアミックス型病院	78	78	100%
⑥回復期リハビリ病院	14	14	100%
⑦慢性期病院	110	110	100%
⑧分類不能	2	2	100%
合計	465	465	100%

# ① (1) 病院プランの提出状況

圏域においても、すべての病院から病院プランが提出されている

## ● 病院プラン提出状況（公民別）

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	4	4	100%
公的	7	7	100%
民間等	32	32	100%
合計	43	43	100%

## ● 病院プラン提出状況（病院機能分類別）

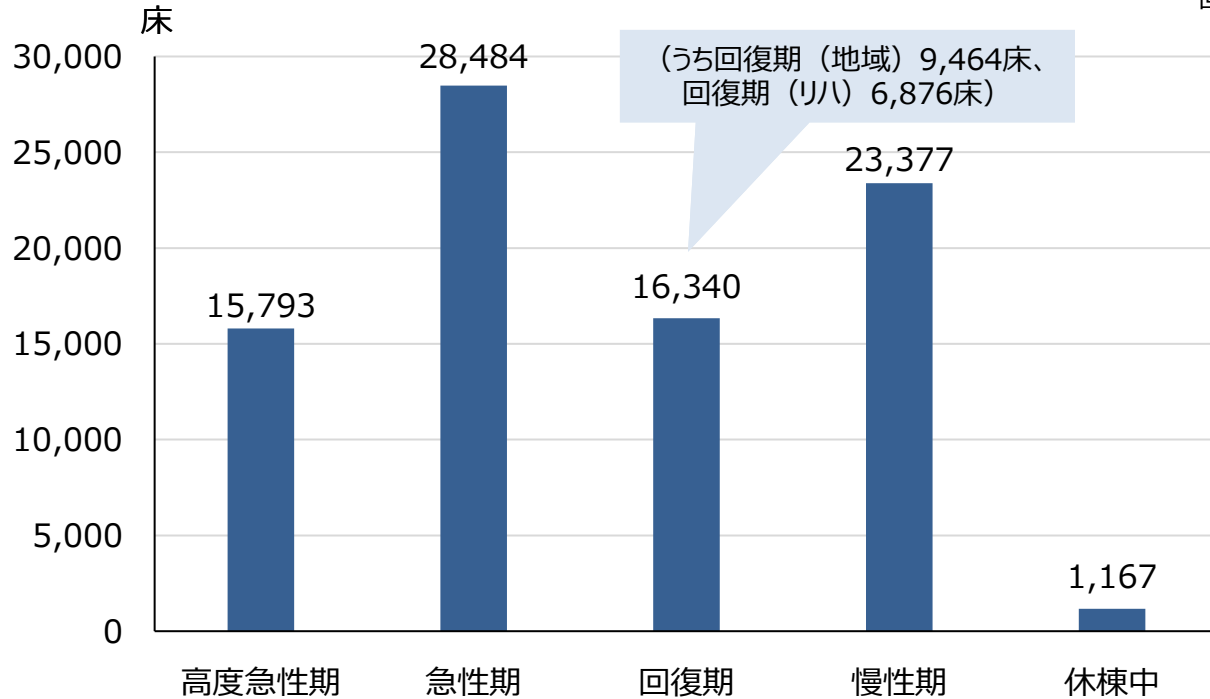
病院機能分類	対象病院数	提出病院数	提出率
①特定機能病院	2	2	100%
②急性期病院	12	12	100%
③急性期ケアミックス型病院	7	7	100%
④地域急性期病院	2	2	100%
⑤後方支援ケアミックス型病院	6	6	100%
⑥回復期リハビリ病院	3	3	100%
⑦慢性期病院	11	11	100%
⑧分類不能	0	0	—
合計	43	43	100%

参照：令和5年度病院プラン（速報値：2月7日現在）

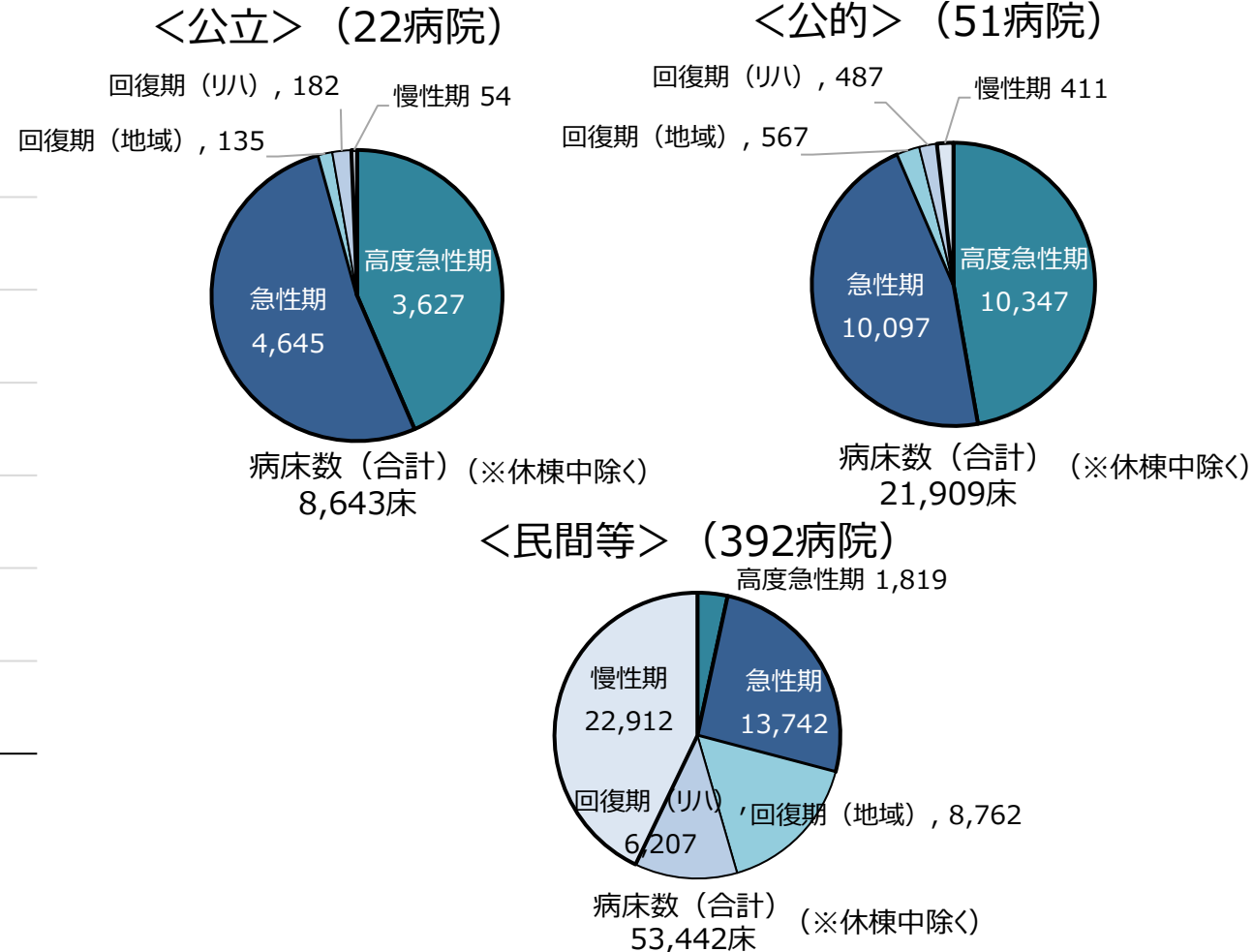
# ① (2) 病床機能別病床数(公民別の結果)

病床機能は、公立・公的病院では急性期および高度急性期、民間等病院では慢性期および回復期の割合が高くなっている

● 病床機能別病床数



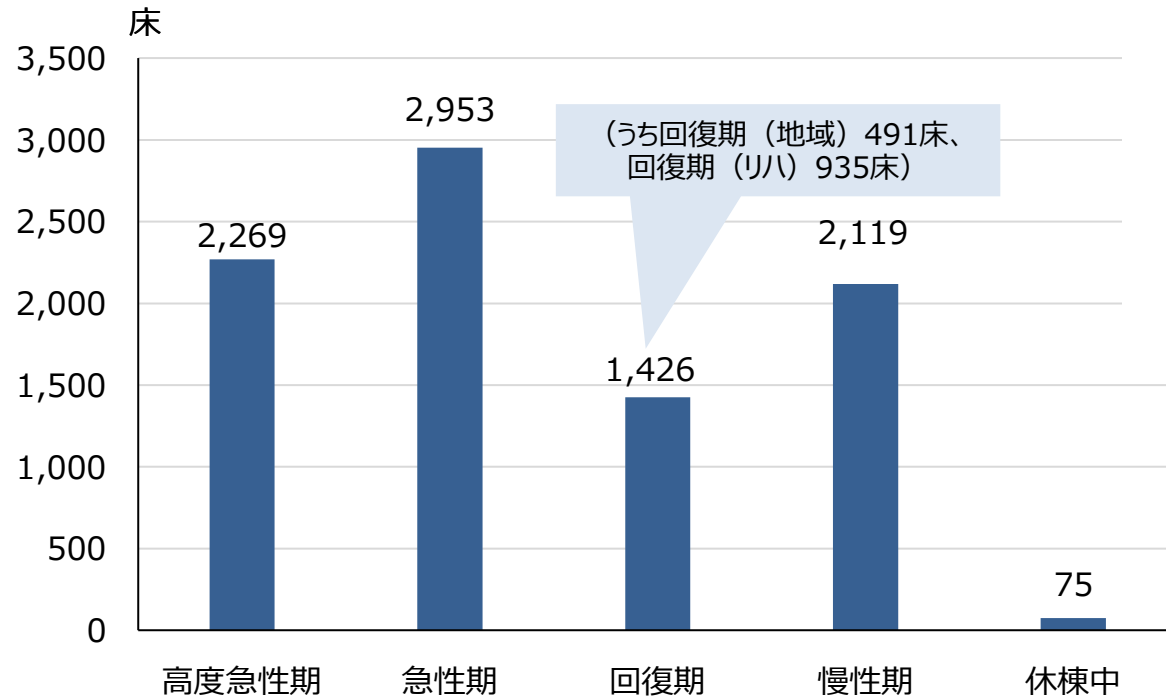
● 病床機能別病床数の割合 (公民別)



# ① (2) 病床機能別病床数(公民別の結果)

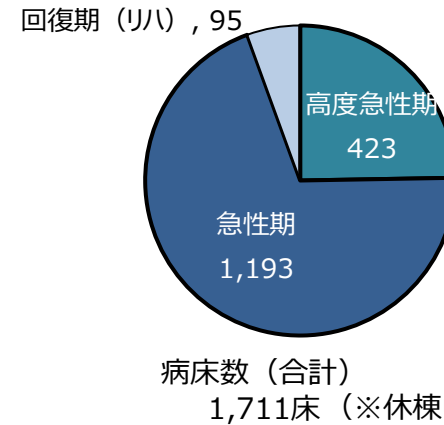
病床機能は、公立病院では急性期、公的病院では高度急性期、民間等病院では慢性期および回復期(リハ)の割合が高くなっている

● 病床機能別病床数

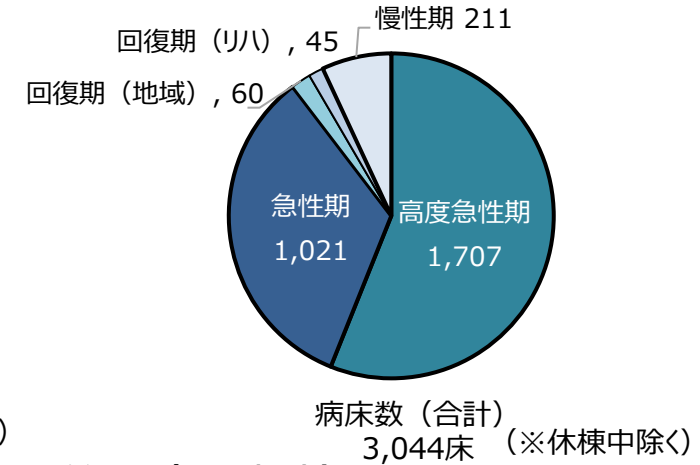


● 病床機能別病床数の割合(公民別)

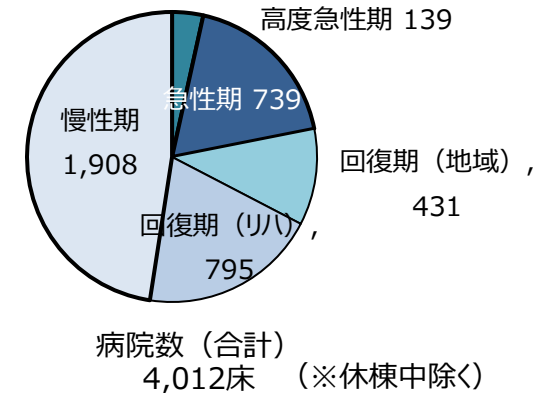
<公立> (4病院)



<公的> (7病院)



<民間等> (32病院)





# ① (3) 二次医療圏別 府が設定した報告基準の一致率

府が設定した病床機能の基準に対し、医療機関あたりの病床機能の一致率は  
**府全体は約91%、豊能二次医療圏では約93%となっている**

● 病床機能の報告 二次医療圏別 病院の報告基準一致率 (有するすべての病棟の報告について府の基準と一致しているか。)

二次医療圏	医療機関数 (A)	病床機能の報告状況				一致率 (B)/((A)-(C))	未提出 医療機関数
		基準に基づく 報告(B)	基準に基づかない 報告*	基準に係る項目 の報告不備*	全病床 休床中(C)		
豊能	43	40	3	0	0	93.0%	0
三島	31	27	2	2	0	87.1%	0
北河内	56	55	0	0	1	100%	0
中河内	31	30	0	1	0	96.8%	0
南河内	36	35	1	0	0	97.2%	0
堺市	38	36	2	0	0	94.7%	0
泉州	57	50	5	1	1	89.3%	0
大阪市	173	148	23	3	0	85.5%	0
北部	38	29	8	2	0	76.3%	0
東部	62	57	5	0	0	91.9%	0
西部	27	22	5	0	0	81.5%	0
南部	46	40	5	1	0	87.0%	0
合計	465	421	36	7	2	90.9%	0

※「基準に基づかない報告」と「基準に係る項目の報告不備」では重複している病院あり

参照：令和5年度病院プラン（速報値：2月7日現在）

# ① (3) 二次医療圏別 府が設定した報告基準の一致率

府が設定した病床機能の基準に対し、病棟あたりの病床機能の一致率は  
府全体では約96%、豊能二次医療圏では約97%となっている

## ● 病床機能の報告 二次医療圏別 病棟別の報告基準一致率

二次医療圏	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				一致率 (B)/((A)-(C))
		基準に基づく 報告(B)	基準に基づかない 報告	基準に係る項目 の報告不備	休棟中(C)	
豊能	237	223	6	0	8	97.4%
三島	155	148	3	2	2	96.7%
北河内	235	232	0	0	3	100%
中河内	138	136	0	1	1	99.3%
南河内	153	151	2	0	0	98.7%
堺市	215	208	3	0	4	98.6%
泉州	214	203	6	1	4	96.7%
大阪市	790	722	49	4	15	93.2%
北部	199	171	24	2	2	86.8%
東部	248	229	11	0	8	95.4%
西部	136	125	9	0	2	93.3%
南部	207	197	5	2	3	96.6%
合計	2,137	2,023	69	8	37	96.3%

## ① (3) 府が設定した報告基準の一致率(入院料別)

## 府が設定した病床機能の基準に対する一致率は、入院料によってばらつきがある

## ● 病床機能の報告 入院料別報告基準一致率①

入院基本料・特定入院料	病床機能 (基準を設定 した機能)	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				病床数	一致率 (B)/((A)-(C))
			基準に基づく 報告(B)	基準に基づ かない報告	基準に係る 項目の報告 不備	休棟中 (C)		
救命救急入院料 1～4 特定集中治療室管理料 1～4 ハイケアユニット入院医療管理料 1～2 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料 小児特定集中治療室管理料 新生児特 定集中治療室管理料 総合周産期特定集中治療室管理料 新生児治療回復室入院医療管理料	高度急性期	266	266	0	0	0	2,437	100%
回復期リハビリテーション病棟入院料	回復期	154	154	0	0	0	6,876	100%
療養病棟入院基本料 療養病棟特別入院基本料	慢性期	339	339	0	0	0	16,077	100%
介護療養病床	慢性期	5	5	0	0	0	205	100%
障害者施設等入院基本料	慢性期	146	145	1	0	0	6,972	99.3%
特殊疾患病棟入院料 特殊疾患入院医療管理料	慢性期	1	1	0	0	0	51	100%
特定機能病院 7対1 入院基本料	高度急性期 急性期	108	102	6	0	0	4,637	94.4%
専門病院 7対1 入院基本料		0	0	0	0	0	0	-
小児入院医療管理料 1～3		45	42	3	0	0	1,407	93.3%
小児入院医療管理料 4～5		0	0	0	0	0	0	-
急性期一般入院料 1～3		645	608	37	0	0	28,760	94.3%

## ① (3) 府が設定した報告基準の一致率(入院料別)

## 府が設定した病床機能の基準に対する一致率は、入院料によってばらつきがある

## ● 病床機能の報告 入院料別報告基準一致率②

入院基本料・特定入院料	病床機能 (基準を設定 した機能)	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				病床数	一致率 (B)/((A)-(C))
			基準に基づく 報告(B)	基準に基づか ない報告	基準に係る項 目の報告不 備	休棟中 (C)		
特定機能病院10対1入院基本料	急性期 回復期	0	0	0	0	0	0	-
専門病院10対1入院基本料		3	3	0	0	0	164	100%
急性期一般入院料4～6		172	155	14	3	0	7,817	90.1%
緩和ケア病棟入院料		34	32	1	1	0	758	94.1%
専門病院13対1入院基本料	急性期 回復期 慢性期	0	0	0	0	0	0	-
地域一般入院料1～2		39	36	3	0	0	1,769	92.3%
特定一般病棟入院料		0	0	0	0	0	0	-
地域包括ケア病棟入院料1～4 地域包括ケア入院医療管理料1～4	急性期 回復期 慢性期	92	89	0	3	0	3,890	96.7%
地域一般入院料3	回復期 慢性期	45	41	3	1	0	2,048	91.1%
一般病棟特別入院基本料		3	3	0	0	0	73	100%
合計		2,097	2,021	68	8	0	83,941	96.4%
診療報酬上及び介護報酬上の入院料の届出なしの病床		1					53	
休棟中		34	0	0	0	34	963	
入院料未報告等		5	2	0	0	3	204	

## ① (3) 府が設定した報告基準の一致率(病床機能別)

## 病院からの報告による病床数 (A) と報告基準に基づく病床数 (B) に 大きな差はないものの、病床機能によってばらつきがある

## ● 病床機能別病床数

(「病院からの報告による病床数の合計」と「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計」)

	病院からの報告による 病床数の合計 (A)	府の報告基準に基づく 病床機能別病床数の合計 (B)	差 (A)-(B)
高度急性期	15,793 床	15,865 床	▲72 床
急性期	28,484 床	27,325 床	+1,159 床
回復期	16,340 床	17,100 床	▲760 床
地域	9,464 床	10,224 床	▲760 床
リハ	6,876 床	6,876 床	±0 床
慢性期	23,377 床	23,305 床	+72 床
休棟中	1,167 床	1,167 床	±0 床
分類不能	0 床	399 床	▲399 床
合計	85,161 床	85,161 床	±0 床

※：入院料を選択している場合でも、病床機能を「休棟中」と選択している場合は、府の報告基準に基づく病床機能においても「休棟中」で計上

※：地域包括ケア病棟入院料については、急性期の報告基準に該当する場合でも「回復期」として報告することは基準に基づく報告としているため、当該病床は「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計 (B)」に回復期 (地域) として計上

## ① (3) 府が設定した報告基準の一致率(病床機能別)

病院からの報告による病床数 (A) は報告基準に基づく病床数 (B) より、  
高度急性期が多く、急性期と回復期が少ない

## ● 病床機能別病床数

(「病院からの報告による病床数の合計」と「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計」)

	病院からの報告による 病床数の合計 (A)	府の報告基準に基づく 病床機能別病床数の合計 (B)	差 (A)-(B)
高度急性期	2,269 床	2,151 床	+118 床
急性期	2,953 床	2,981 床	▲ 28 床
回復期	1,426 床	1,516 床	▲ 90 床
地域	491 床	581 床	▲ 90 床
り八	935 床	935 床	±0 床
慢性期	2,119 床	2,119 床	±0 床
休棟中	75 床	75 床	±0 床
分類不能	0 床	0 床	±0 床
合計	8,842 床	8,842 床	±0 床

※：入院料を選択している場合でも、病床機能を「休棟中」と選択している場合は、府の報告基準に基づく病床機能においても「休棟中」で計上

※：地域包括ケア病棟入院料については、急性期の報告基準に該当する場合でも「回復期」として報告することは基準に基づく報告としているため、当該病床は「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計 (B)」に回復期(地域)として計上

## ① (4) 病院機能分類結果概要

## 病院機能の見える化を図ることにより、今後の機能分化の議論の活性化を図る

## ● 病院機能分類の結果

	医療 機関数	許可 病床数	高度 急性期	急性期	回復期 (地域)	回復期 (リハ)	慢性期	休棟中	分類不能
特定機能病院	7	5,544 床	4,482 床	935 床	0 床	0 床	0 床	127 床	0 床
急性期病院	101	26,190 床	8,829 床	16,487 床	191 床	45 床	114 床	524 床	0 床
急性期ケア ミックス型病院	120	24,651 床	2,482 床	11,062 床	3,189 床	3,366 床	4,337 床	215 床	0 床
地域急性期病院	33	2,312 床	0 床	0 床	2,209 床	0 床	0 床	103 床	0 床
後方支援ケア ミックス型病院	78	13,108 床	0 床	0 床	3,865 床	2,061 床	7,082 床	100 床	0 床
回復期リハビリ 病院	14	1,404 床	0 床	0 床	0 床	1,404 床	0 床	0 床	0 床
慢性期病院	110	11,902 床	0 床	0 床	10 床	0 床	11,844 床	48 床	0 床
分類不能 (全床休棟中)	2	50 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	50 床	0 床
<b>合計</b>	<b>465</b>	<b>85,161 床</b>	<b>15,793 床</b>	<b>28,484 床</b>	<b>9,464 床</b>	<b>6,876 床</b>	<b>23,377 床</b>	<b>1,167 床</b>	<b>0 床</b>

## ① (4) 病院機能分類結果概要

圏域においては、病院機能の見える化の結果を踏まえ、  
地域医療構想の推進にかかる機能分化について議論していく

## ● 病院機能分類の結果

	医療 機関数	許可 病床数	高度 急性期	急性期	回復期 (地域)	回復期 (リハ)	慢性期	休棟中	分類不能
特定機能病院	2	1,584 床	1,288 床	273 床	0 床	0 床	0 床	23 床	0 床
急性期病院	12	2,290 床	596 床	1,694 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
急性期ケア ミックス型病院	7	2,171 床	385 床	986 床	148 床	258 床	379 床	15 床	0 床
地域急性期病院	2	156 床	0 床	0 床	119 床	0 床	0 床	37 床	0 床
後方支援ケア ミックス型病院	6	1,001 床	0 床	0 床	224 床	241 床	536 床	0 床	0 床
回復期リハビリ 病院	3	436 床	0 床	0 床	0 床	436 床	0 床	0 床	0 床
慢性期病院	11	1,204 床	0 床	0 床	0 床	0 床	1,204 床	0 床	0 床
分類不能 (全床休棟中)	0	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
<b>合計</b>	<b>43</b>	8,842 床	2,269 床	2,953 床	491 床	935 床	2,119 床	75 床	0 床



# (参考) 病院機能分類

- 地域に必要な医療を持続的に提供していくため、病院の役割分担による体制づくりを検討していくことが重要。
- 現在各病院が有する病床機能等から、**大阪府独自に病院の機能・役割の見える化を図るため、病院機能を分類（令和4年度より）。**

病院機能分類		分類の考え方
分類区分		
1	特定機能病院	特定機能病院
2	急性期病院	高度急性期と急性期の病床の合計割合が病床（一般・療養）の9割以上
3	急性期ケアミックス型病院	高度急性期または急性期の病床を有するが、当該病床の割合が病床（一般・療養）の9割未満
4	地域急性期病院	回復期病床（地域（リハビリ以外））の割合が病床（一般・療養）の9割以上
5	後方支援ケアミックス型病院	1～4、6、7の区分に属しない病院
6	回復期リハビリ病院	回復期病床（リハビリ）の割合が病床（一般・療養）の9割以上
7	慢性期病院	慢性期病床の割合が病床（一般・療養）の9割以上

## 各病院の役割の基本的なイメージ

各病院は役割に応じた機能の維持・強化を図ることが期待され、**特に、現在回復期（サブアキュート・ポストアキュート）を担っている病院は、回復期機能を強化していくことが望まれる。**

病院の主な役割	特定機能病院	急性期病院	急性期 ケアミックス型病院	地域急性期病院	後方支援 ケアミックス型病院	回復期リハビリ 病院	慢性期病院
①高度医療の提供及び研修、高度医療技術開発等	↑↓						
②重症患者の救急受入機能 (脳卒中・急性心筋梗塞等の高度・専門的な治療等)	↑↓	↑↓	↑↓				
③地域診療拠点機能（がん、災害、小児、周産期等）							
④サブアキュート機能（大腿骨骨折や肺炎等軽度の急性期患者の受入【救急、在宅医療の後方支援機能】）	回復期機能		↑↓	↑↓	↑↓	↑↓	↑↓
⑤ポストアキュート機能（回復期リハビリ患者の受入）							
⑥長期入院が必要な患者の受入							

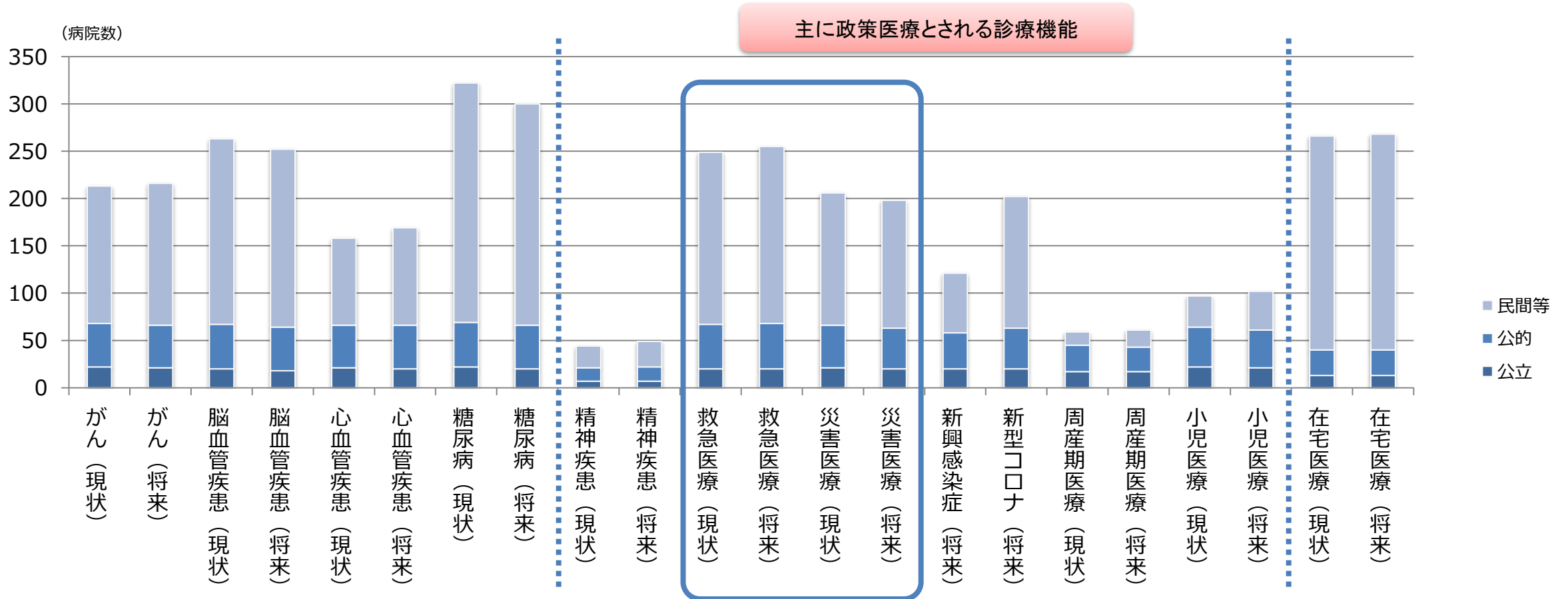
## ② 将来のあるべき 医療体制に向けて

(1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能等

## ② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

主に政策医療とされる診療機能の中で、「救急医療」「災害医療」については、民間等医療機関においても多くの医療機関が機能を持っている

## 1 診療機能別「現状の機能」と「2025年に向け検討している機能」の比較

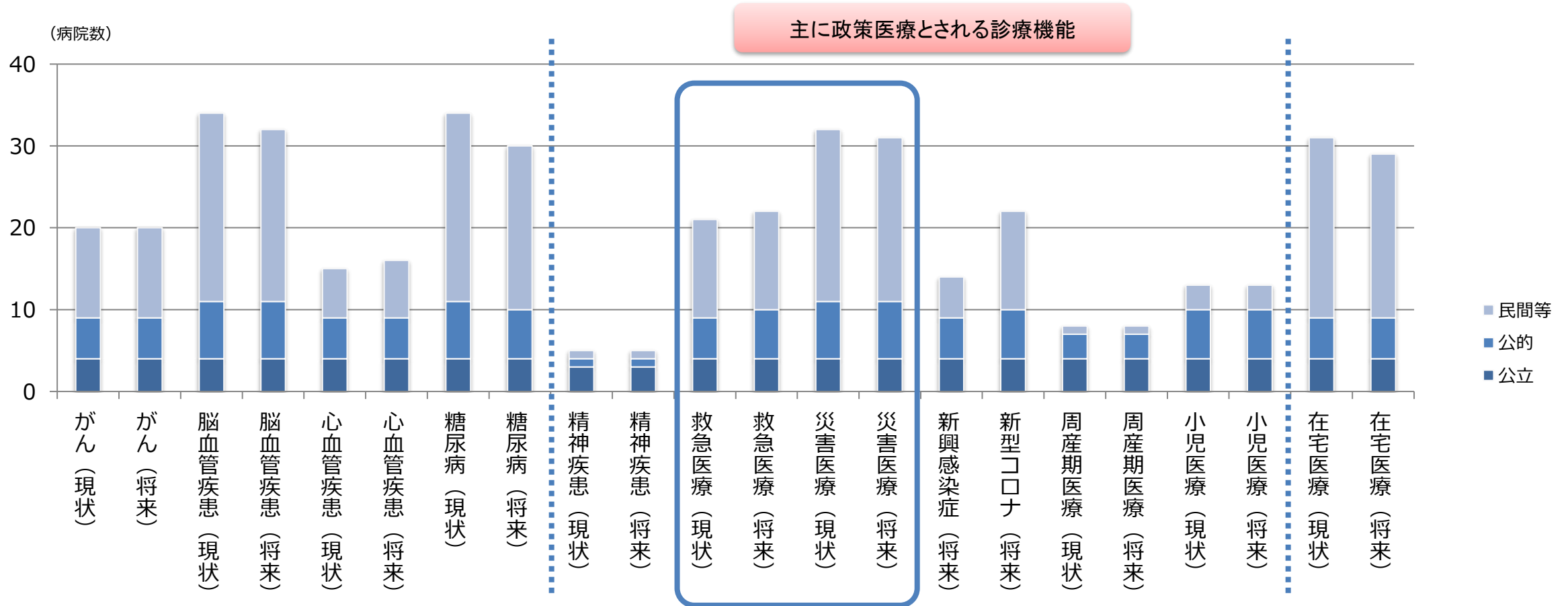


参照：令和5年度病院プラン（速報値：2月7日現在）

# ② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

## 「救急医療」「災害医療」は、多くの民間等医療機関が機能を持っている

### 1 診療機能別「現状の機能」と「2025年に向け検討している機能」の比較

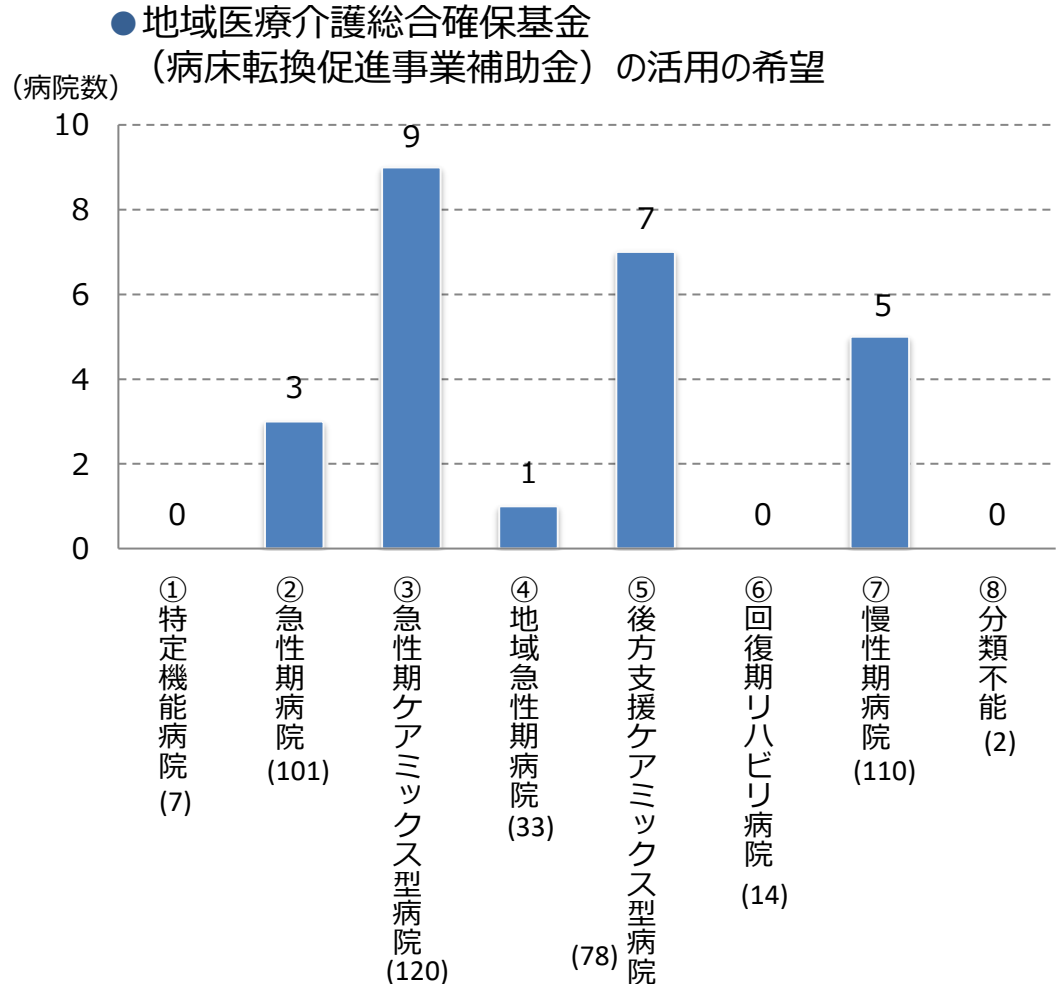
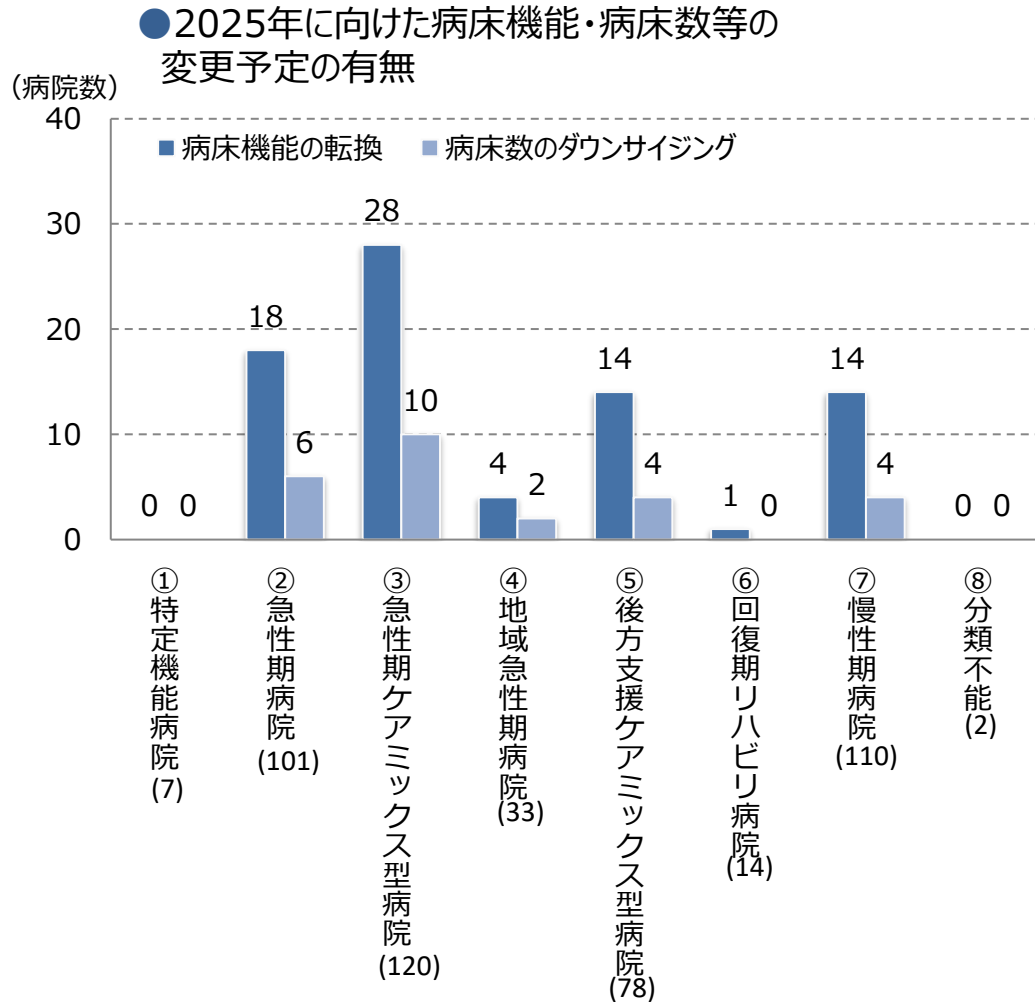


参照：令和5年度病院プラン（速報値：2月7日現在）

## ② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

2025年に向け病床機能の転換を予定している医療機関の割合は、急性期ケアミックス型が最も高く約23%となっている

### 2 今後の病院の方針①

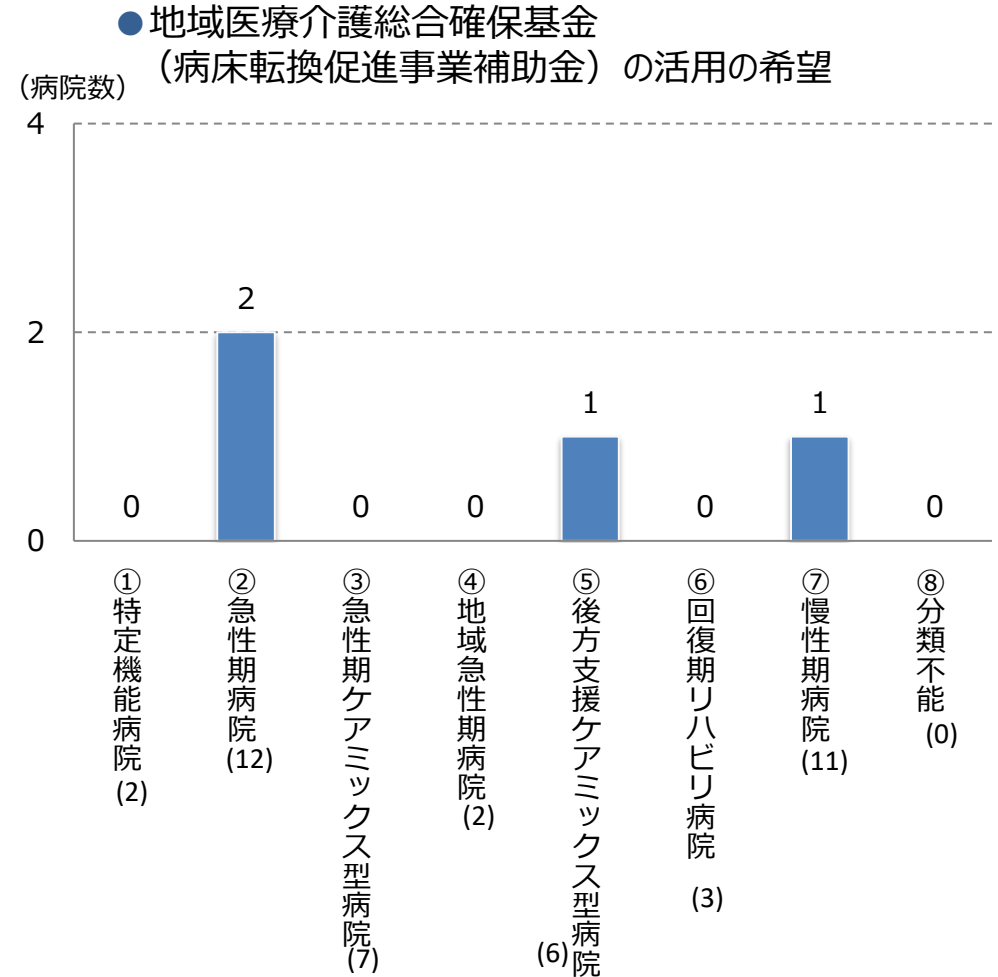
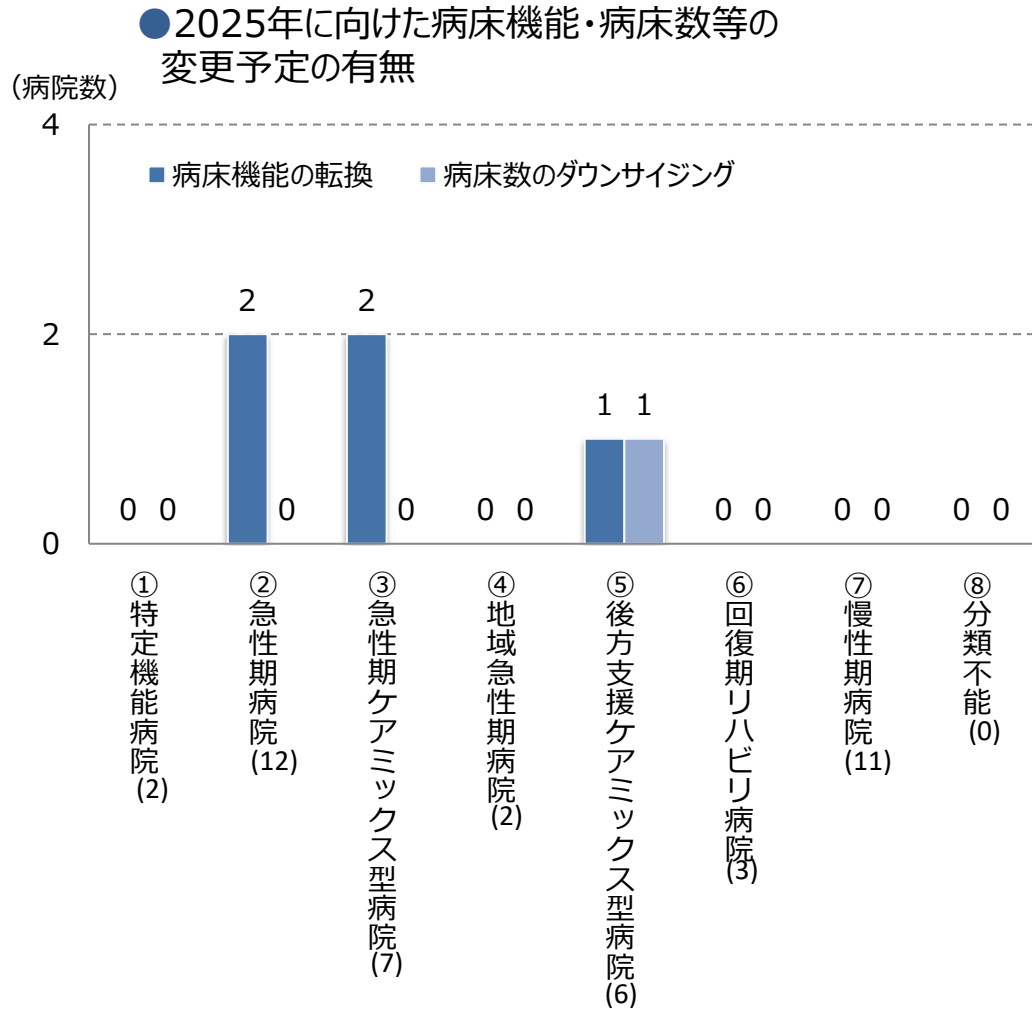


参照：令和5年度病院プラン（速報値：2月7日現在）

## ② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

2025年に向け病床機能の転換を予定している医療機関の割合は、急性期ケアミックス型病院が最も高く約29%となっている

### 2 今後の病院の方針①

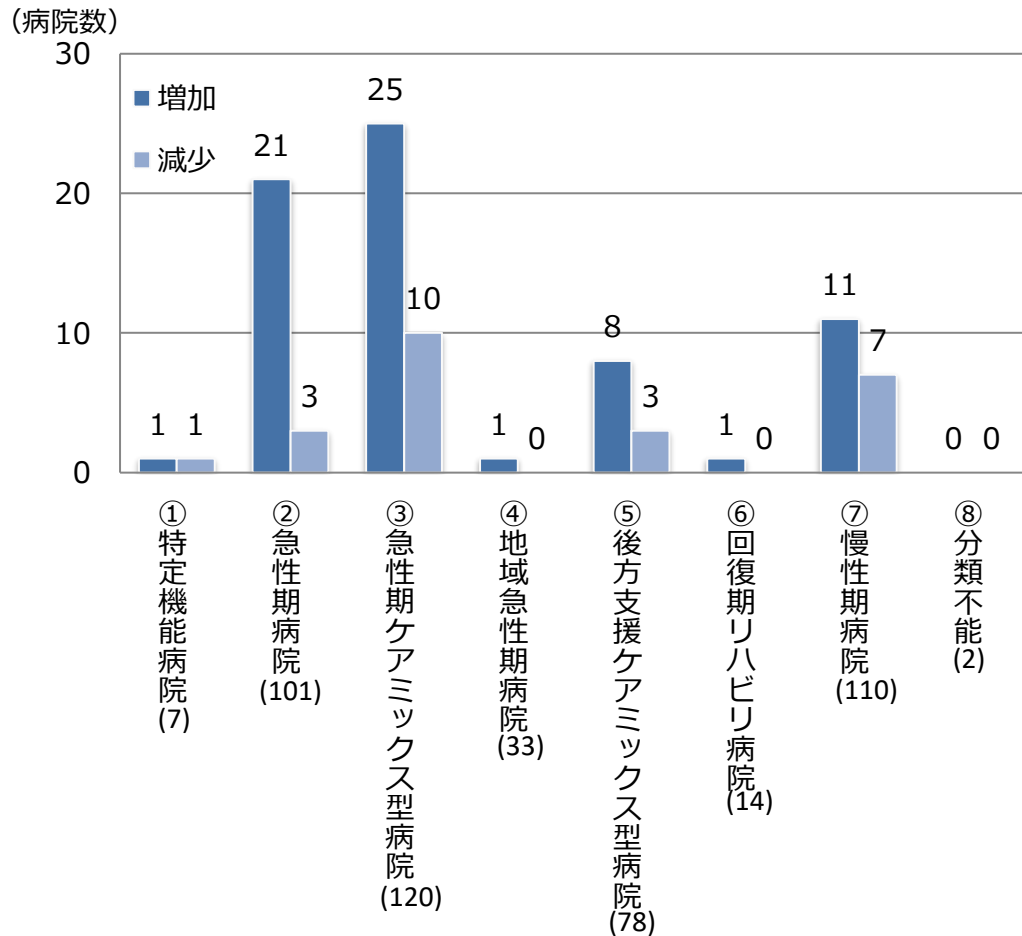


② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

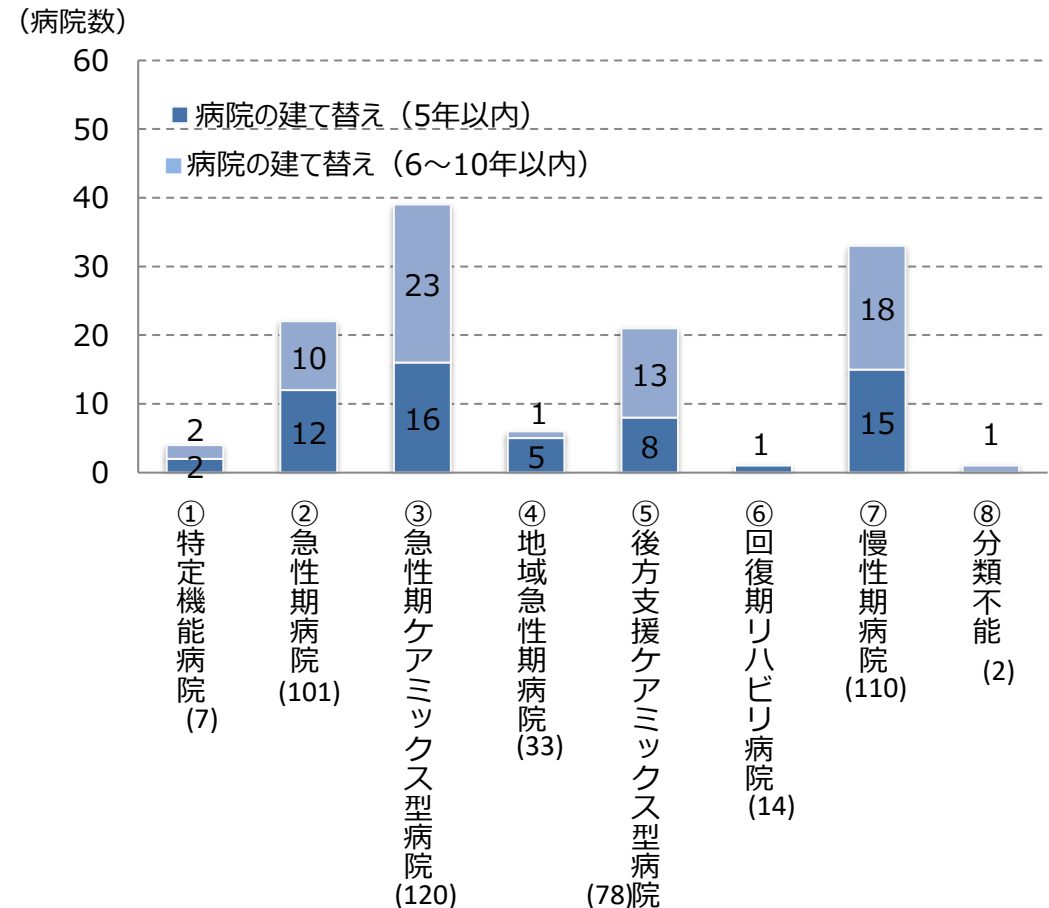
今後、10年以内に建物・設備の整備・改修を予定している医療機関は約27%である

2 今後の病院の方針②

● 2025年に向けた診療科目の見直しの予定の有無



● 2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無



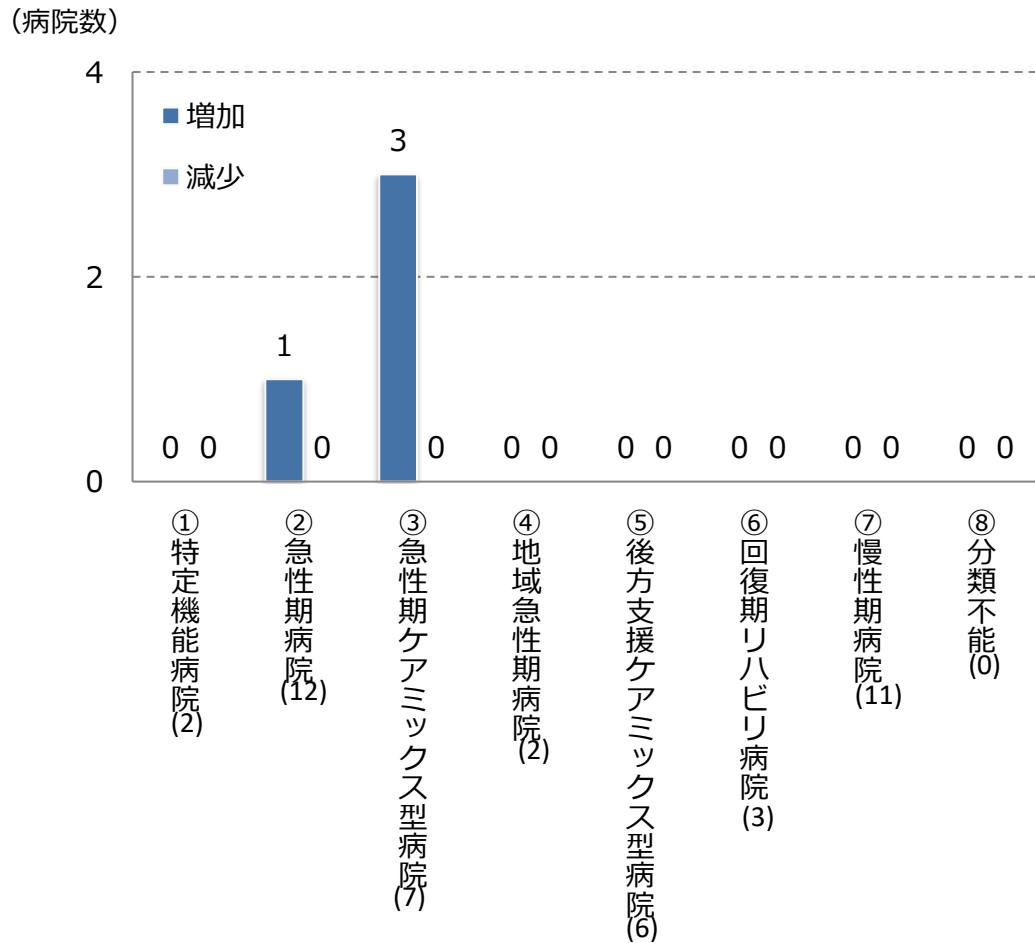
参照：令和5年度病院プラン（速報値：2月7日現在）

## ② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

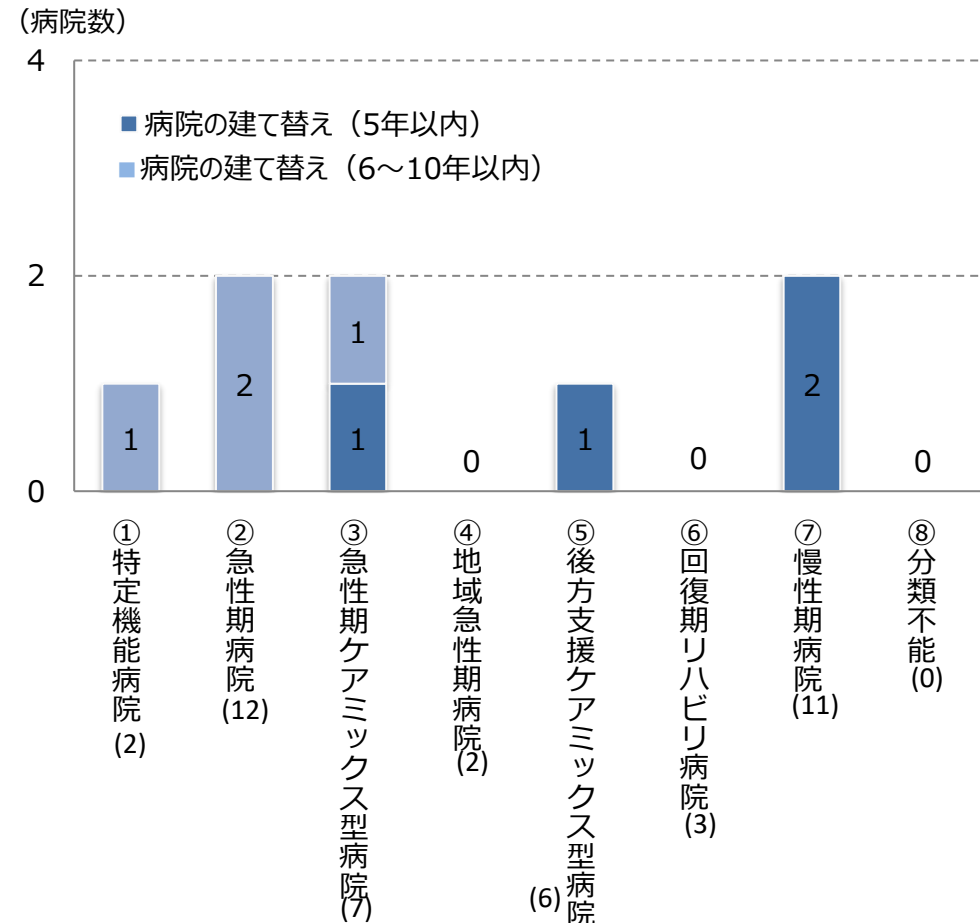
今後、10年以内に建物・設備の建て替えを予定している医療機関は約19%である

### 2 今後の病院の方針②

● 2025年に向けた診療科目の見直しの予定の有無



● 2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無



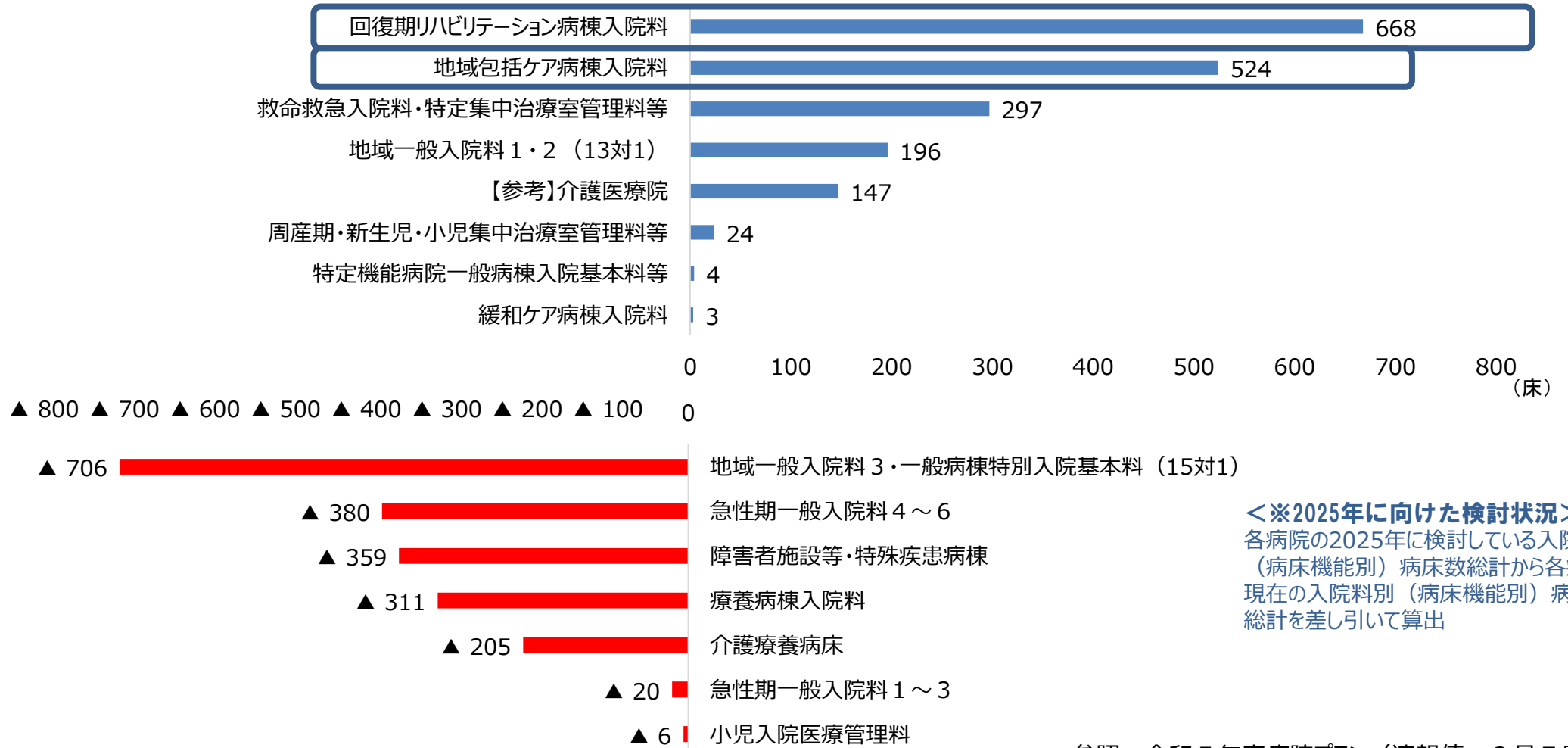
参照：令和5年度病院プラン（速報値：2月7日現在）



② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

各病院が検討している病床機能等の変更は、  
構想がめざす病床機能分化の方向性と概ね一致している

● 入院基本料等別の検討状況※

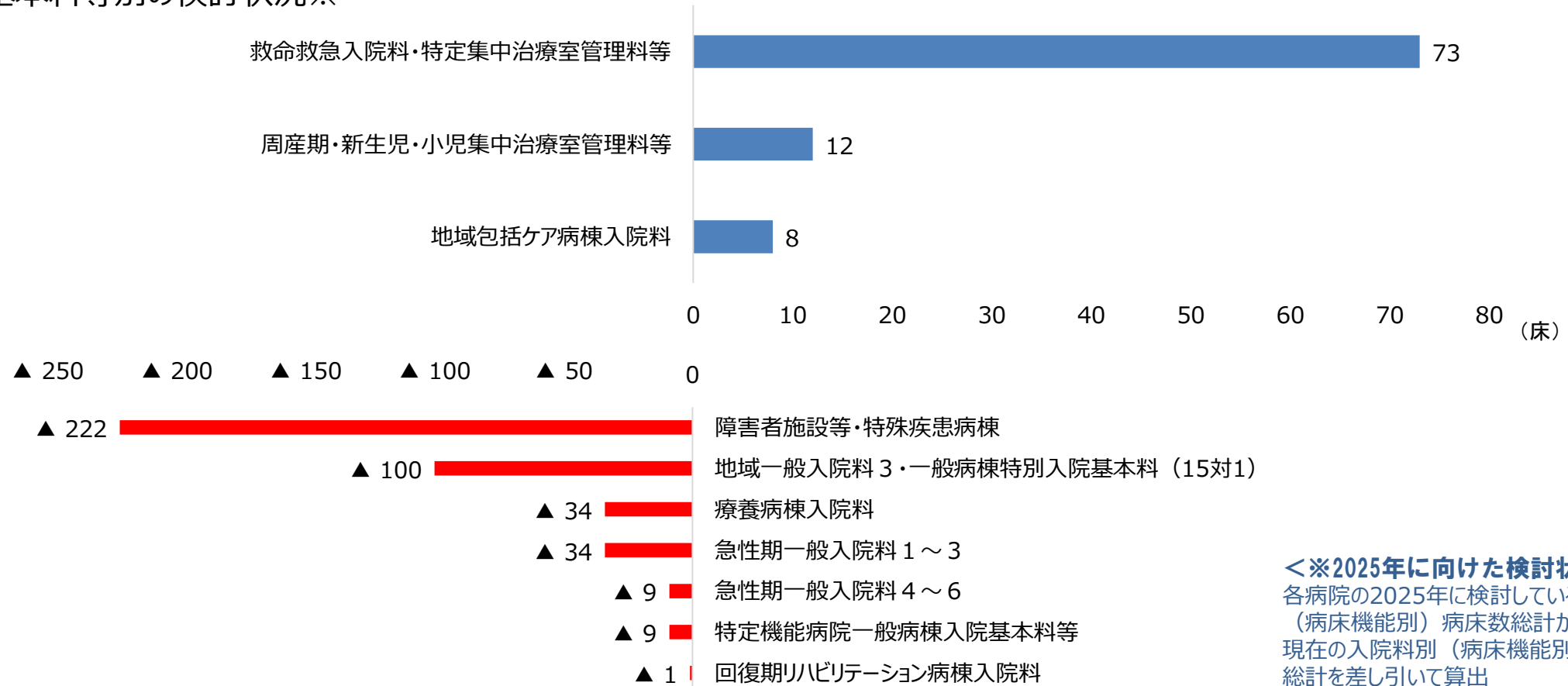


＜※2025年に向けた検討状況＞  
各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

救命救急入院料・特定集中治療室管理料等の増加、  
障害者施設等や地域一般入院料3等の減少が検討されている

● 入院基本料等別の検討状況※



＜※2025年に向けた検討状況＞  
各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

## ② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑤

高度急性期・急性期病床への転換には、コロナ対応から通常医療への移行を検討している（人員配置の変更等）医療機関が一定数含まれている。  
また、回復期リハビリ病床への転換を検討する医療機関が多く存在する。

## ● 公立・公的・民間別の検討状況

病床機能別病床数【2025年に向け検討している病床機能等】

	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	4,478	4,025	243	111	132	38	12	8,796
公的	10,035	10,360	1,032	463	569	467	204	22,098
民間等	1,928	14,760	14,411	7,568	6,843	22,060	4	53,163
計	16,441	29,145	15,686	8,142	7,544	22,565	220	84,057

2025年に向けた現状（2023年）との病床数の増減

	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	+ 851	▲ 620	▲ 74	▲ 24	▲ 50	▲ 16	▲ 89	+ 52
公的	▲ 312	+ 263	▲ 22	▲ 104	+ 82	+ 56	▲ 223	▲ 238
民間等	+ 109	+ 977	▲ 558	▲ 1,194	+ 636	▲ 852	▲ 635	▲ 959
計	+ 648	+ 620	▲ 654	▲ 1,322	+ 668	▲ 812	▲ 947	▲ 1,145

※2023年8月に再編統合により閉院した1病院の病床数含む

参照：令和5年度病院プラン（速報値：2月7日現在）

## ② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑤

急性期病棟への転換が、一定数の医療機関において検討されており、  
また、回復期リハビリ病床への転換を検討する医療機関が存在する

## ● 公立・公的・民間別の検討状況

病床機能別病床数【2025年に向け検討している病床機能等】

	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	休棟予定	計	
			地域	リハ				
公立	427	1,262	45	0	45	0	1,734	
公的	1,456	1,270	40	0	40	211	15	2,992
民間等	142	796	1,150	301	849	1,652	0	3,740
<b>計</b>	<b>2,025</b>	<b>3,328</b>	<b>1,235</b>	<b>301</b>	<b>934</b>	<b>1,863</b>	<b>15</b>	<b>8,466</b>

2025年に向けた現状（2023年）との病床数の増減

	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	休棟予定	計	
			地域	リハ				
公立	+4	+69	▲ 50	±0	▲ 50	±0	±0	+23
公的	▲ 251	+249	▲ 65	▲ 60	▲ 5	±0	▲ 23	▲ 90
民間等	+3	+57	▲ 76	▲ 130	+54	▲ 256	▲ 37	▲ 309
<b>計</b>	<b>▲ 244</b>	<b>+375</b>	<b>▲ 191</b>	<b>▲ 190</b>	<b>▲ 1</b>	<b>▲ 256</b>	<b>▲ 60</b>	<b>▲ 376</b>

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑥

圏域においては、2件の再編統合事例が予定されている

①

医療機関名	市区町村	計	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟中
						(地域)	(リハ)		
医療法人協和会協和会病院	03 吹田市	301	0	59	124	38	86	118	0
箕面市立病院	04 箕面市	317	93	174	50	0	50	0	0
計		618	93	233	174	38	136	118	0



再編統合予定時期	医療機関名	市区町村	計	高度急性期	急性期	回復期	回復期(地域)	回復期(リハ)	慢性期	休棟中
2028 (令和10)年3月	箕面市立病院	04 箕面市	390	93	297	0	0	0	0	0
	計		390	93	297	0	0	0	0	0
	増減		▲ 228	±0	+64	▲ 174	▲ 38	▲ 136	▲ 118	±0

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑥

圏域においては、2件の再編統合事例が予定されている

②

医療機関名	市区町村	計	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟中
						(地域)	(リハ)		
大阪市立総合医療センター	61 都島区	975	807	144	24	24	0	0	0
大阪公立大学医学部附属病院	79 阿倍野区	927	867	0	0	0	0	0	60
大阪市立弘済院附属病院	03 吹田市	90	0	90	0	0	0	0	0
計		1,992	1,674	234	24	24	0	0	60



再編統合予定時期	医療機関名	市区町村	計	高度急性期	急性期	回復期	回復期(地域)	回復期(リハ)	慢性期	休棟中
2027 (令和9) 年 5月	大阪市立総合医療センター	61 都島区	950	808	142	0	0	0	0	0
	大阪公立大学医学部附属病院	79 阿倍野区	921	921	0	0	0	0	0	0
	【新】未定 (新病院・住之江区)	83 住之江区	120	0	120	0	0	0	0	0
	計		1991	1729	262	0	0	0	0	0
	増減		▲ 1	+ 55	+ 28	▲ 24	▲ 24	±0	±0	▲ 60